

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	社会福祉法人 花ノ木 放課後等デイサービス ココはなのき		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 46名	(回答者数) 37名	
○従業者評価実施期間	令和6年12月24日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 14名	(回答者数) 14名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	花ノ木医療福祉センターの専門職との連携による専門性のある指導	活動日案の検討を共におこなったり、勉強会をおこない職員が専門性の維持向上を継続できるように学んでいる 関連学会への参加およびポスター発表など積極的に学べる機会の保障をおこなっている	今後も引き続き、専門性の維持向上のために研修会などを計画する
2	アセスメントによる児童の評価と指導内容の検討に取り組んでいる	利用曜日別にあセスメント方法を検討し、児童の評価をおこない、課題設定や活動内容を工夫している	児童の様子に合わせたアセスメントや指導内容の検討、またケース検討会などをおこない、職員間の情報共有をおこなう
3	保護者交流会や保護者送迎による児童の様子共有および支援方法の伝達をおこなう 保護者の希望に応じ、必要に応じて学校との連携をおこなっている	保護者交流会の中で、保護者同士の交流および子育て相談などもおこなっている 学校との連携をおこない、情報共有している	交流会の計画と日々の保護者への声掛けなどをおこなう 学校関係者と、事業所でのねらい、取り組み内容などの情報共有をおこない連携していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者には、契約時のマニュアルの説明などが不十分と思われる方もいる	契約時には、様々な資料説明をまとめておこない、説明量も多くなっているため、保護者の記憶に残りにくいことが考えられる	契約時の説明で、資料の確認をしながら、より丁寧で簡潔な説明をおこなうように心がけていく 避難訓練など取り組み時にも書類を活用しながら説明をおこなっていることを継続する
2			
3			

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月13日

事業所名：社会福祉法人花ノ木 放課後等デイサービス ココ はなのき

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	0	0	活動内容と利用人数の関係で少人数グループ活動を計画したりとスペースを有効的に活用しています。	今後もスペースを有意義に活用できるようにしていきます。
	2 職員の配置数が適切であるか	14	0	0	子どもさんの利用人数によって、対応しています。	適切な職員配置数で進めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2	0		トイレについては、児童に合わせた誘導などを引き続き行ないます。
業務改善	4 業務改善のためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	13	1	0	係内職員参加のもと、様々な検討を行っています。	今後も引き続き、業務改善において、広く職員で検討を進めます。
	5 保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13	1	0	保護者の方からの意見を受けて検討につながりもあります。	今後も評価アンケートの結果を事業所運営に活かしていきたいと思います。
	6 この自己評価の結果を事業所祖の会報やHP等で公開しているか	10	4	0	HPで公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	2	0	R5年度に第三者評価を受けました。	今後も必要に応じて、評価実施時期を検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	0	研修の計画を立て取り組んでいます。毎月の学習会や学会にも参加することで学ぶ機会を作っています。	引き続き、支援の質の向上に向けて研修を重ねて参ります。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	0	0	保護者からのお話やアセスメントを基にして、支援内容の計画を立てています。	引き続きアセスメントや保護者の方からの聞き取りをもとに、個別の支援計画の立案を行います。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1	0	曜日や児童に合わせて、アセスメントツールを活用しています。	今後も児童のアセスメントを適宜おこない支援の取り組みを進めていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	0	0	毎回チーム内で立案を行なっています。	今後もチームで立案を行ない、内容をより充実させていけるように努めます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	1	0	固定化しないように適宜見直しをしています。	個別や集団に合わせて、活動プログラムを工夫していきます。
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスを計画しているか	13	1	0	活動内容に個別と集団を組み合わせています。	今後も継続していきます。
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	0	毎回スタッフで打ち合わせを行っています。	引き続き行なっていきます。
	15 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	14	0	0	反省会を行ない、次の活動につなげています。センター内の共有ホルダーを活用し記録の入力をして、職員間で情報共有できるようにしています。	継続し行なっていきます。
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	0	記録を取り、適宜見直し検証し、改善に役立っています。	記録の方式も検討を重ね、支援の見直しなどにより役立てていけるように取り組んでいます。
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	0	6か月に1回見直しを行っています。	児童の様子をより丁寧に見ていくことを大事にして、個別支援計画にそった支援を進めていきます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	14	0	0	児童や曜日グループに合わせた基本の活動を軸に置きながら創作活動や季節の行事なども組み合わせで行っています。	引き続き行なっていきます。
	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	2	0	児童発達支援管理者を中心にしながら参加し、職員間で情報共有しています。	引き続き行なっていきます。
	20 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	13	1	0	保護者を通して情報を共有するようにしています。	今後も学校との連携を進めながら、保護者を中心として情報共有を行なっていきます。
	21 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	5	0	必要に応じて実施することとしています。就学前の療育を通じてつながりを持っています。	保護者の方の了解のもと必要な連携を行なうことで、適切な子どもさんの理解に繋がっていきます。
	22 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	0	花ノ木医療福祉センターの医師や専門職と連携し助言を受けながら進めています	今後も継続して、専門機関と連携を図りながら支援を進めていきます。
	23 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	10	4	0	圏域の発達障害者部会に担当者が参画しています。	スタッフ間でも報告を行ない、情報共有していきます。
	24 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	1	0	保護者の方に児の様子や課題について伝え、学校の様子や日頃の家庭での様子を情報共有しています。	今後も保護者の方と共通理解を持てるように、会話を重ね子どもさんの様子について伝え、共に考えていきます。
	25 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	3	0	交流会や保護者相談の中で織り込んでいます。	次年度についても、保護者の方の対応力向上のために交流会を始め、相談対応を充実させていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	26 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1	0	利用開始時の契約の中で説明しています。	次年度も契約の機会の中で資料等を活用しながらより丁寧に説明をしていきます。
	27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	2	0	保護者のニーズに応じて実施しています。	今後も引き続き保護者相談に対応し、助言および子どもさんへの支援を共に考えていきます。
	28 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	2	0	機会を作っていますが、参加は全員ではありません。	次年度も保護者交流会の機会を作ったり、保護者同士送迎の合間に少しの時間でも交流の機会が持てるように工夫を行っていきたく思います。
	29 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦言があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0	対応する体制は整えています。	苦情受付体制の周知については、センター玄関と指導訓練室前に貼りだしを継続します。また契約時にも説明を行ない、周知を進めます。苦情があった時には、迅速適切に対応していきます。
	30 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	毎月1回お便りを作成し、活動の様子や連絡などをお伝えするようにしています。	引き続きお便りを発行し、保護者の方に情報を定期的にお伝えしていきます。
	31 個人情報に十分注意しているか	14	0	0	十分に留意し、対応しています。	これからも十分に気を付けていきます。
	32 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1	0		今後も必要に応じて意思疎通および配慮等を行なっていきます。
	33 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	14	0	0	情報発信事業を始め研修などの機会を作っています。	次年度も引き続き、地域に貢献していけるような取り組みを進めていきます。
	34 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13	1	0	利用開始時に説明しています。	引き続き、資料等を活用しながらより丁寧な説明を行なっていきます。
	35 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	1	0	年に1回の避難訓練を実施しています。また防災週間を設け、防災の取り組みを行なっています。	次年度も同様に防災についての訓練の計画を進めます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	36 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	1	0	医療福祉センターの研修に参加しています。	研修に参加し、参加できない職員には伝達研修を行なっていきます。
	37 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	3	0	利用開始時には説明を行ない、確認して了解をいただいています。	契約時に説明を行ない、了解をいただいたことを保護者記録欄に記録していきます。
	38 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	3	0	利用前の保護者面談でアレルギーの確認を行なっています。	引き続き、アレルギー等については注意を払っていきます。
	39 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	2	0	何かあったときは、職員間で共有を行っています。	職員間で共有し注意喚起を行ない、安全に活動を進めていけるようにしていきます。